

3月1日

グルージャ盛岡がホームタウン奥州市を訪問

訪問



サッカーのグルージャ盛岡が、ホームタウンである本市を訪問し、3月11日の開幕戦を迎えるに当たり、2018シーズンの応援を依頼しました。訪問した田中選手は「岩手県が盛り上がるよう、県民の声援を受けながら頑張ります」と意気込みを語っていました。

3月3日

奥州・台湾合作ショートムービー上映会

イベント



台湾の映画監督・李孔尉さんと奥州市民が脚本段階から意見を出し合い作り上げたショートムービー「アップルパイ」の上映会が胆江地区勤労者教育文化センターで行われました。台湾人の視点からみた奥州の魅力が詰まったこの作品を活用して、台湾人観光客の誘客を進めていきます。

3月14日

鈴木ヤエさん 100歳 (胆沢小山)

画寿



胆沢小山に生まれ、17歳で故・由次さんと結婚。夫が戦争で不在だった頃は、家事から農業まで何でもこなした働き者です。現在は施設で貼り絵やリースなどの作品作りに熱心に取り組んでいます。長男の博さん(76)は「兄弟みんなを丈夫に育ててもらった」と感謝しました。

3月18日

黒石幼稚園閉園式

イベント



黒石幼稚園閉園式が行われ、園児や保護者、地域住民などが出席しました。園児数の減少により適正な学級規模の維持が難しくなった同園。「お別れのことば」には全園児と保護者が登壇し、思い出を語って別れを惜しましました。園歌歌唱後に園旗が返納され、34年の歴史に幕を閉じました。

3月1日

江刺の新入学児童へ交通安全用品を贈呈

寄贈



江刺交通安全協会の海鋒守会長が江刺総合支所を訪れ、田面木茂樹教育長へ反射材付きホルダー「パトピッカー」が贈呈されました。子どもたちの交通安全を願い、毎年贈呈されています。江刺の小学校へ入学した児童203人には、入学式の際に各学校を通じて配布されました。

3月24日

ダブルケア当事者に寄り添う地域づくりを目指して

市政



市は、親の介護と自身の子育てを同時に行なう「ダブルケア」について学ぶセミナーを江刺生涯学習センターで開催しました。講師の八幡初恵氏(岩手奥州ダブルケアの会代表)は、ダブルケアの現状や課題について説明し、集まった約20人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

3月12日

市中山間地農業ルネッサンス事業「めん羊に関する講演会」

市政



市は、中山間地の遊休農用地などでめん羊飼育に取り組んでいる人などを対象とした講演会を開催しました。めん羊の飼養衛生管理や、消費者が求める羊肉、販路拡大が課題になっていることから、参加した24人は講師の話に興味深く聞き入っていました。

2月28日～3月4日

第17回くり雛まつり

イベント



くり雛まつり(奥州水沢くり雛まつり実行委員会主催)がメイプル4階催事場をメイン会場に、水沢の街中15会場で開催されました。くり雛は、厚紙、綿、布を組み合わせた「押し絵」の技法で作られたひな人形。内裏雛のほかさまざまな人形がひな壇に飾られ、訪れる人の目を楽しませました。

3月9日・10日

東日本大震災内陸避難者「きずな」展

イベント



被災者支援拠点「ホープラザ奥州」の3月末での閉所に伴い、これまでの活動報告と未来へつなぐ提言のためのイベントがメイプルで開催されました。シンポジウムでは、内陸避難者や関係団体の代表から、被災以降の経過が話され、今後の支援活動を考える機会になりました。

3月15日

鑄造技術のさらなるレベルアップを目指して

市政



市内を中心とした鑄物関連企業17社で構成する「いわて鑄造研究会」の平成29年度研究成果発表会が行われました。各会員企業は、岩手大学鑄造技術研究センターの先生方の指導を受けながら実施した新素材の開発や不良品低減などの取り組みを発表し、活発な質疑応答が行われました。

3月25日

羽田町火防祭

イベント



市内春祭りのトップを飾る羽田町火防祭(同実行委員会主催)が羽田町本町通りを会場に開催されました。昭和初期の大火を契機とする地域の防火を願う同祭り。市消防団の纏振りや鑄物屋台「羽田町剣ばやし」の運行が花を添え、お囃子や鑄物太鼓などの演奏が春を呼び込みました。

3月18日

高橋ハナヨさん 100歳 (胆沢小山)

画寿



衣川雲南田に生まれ、35歳頃に故・忠雄さんと結婚。作業員のため留守がちな夫に代わり、家庭を守ってきました。手先が器用でチラシで紙箱を作ったり、毎朝新聞を読むのが日課です。記念品を受け取ったハナヨさんは「体を動かすことが長寿の秘訣です」と話しました。